

抽水
植物

水面を覆い尽くしちぎれた固まりが 水利施設に押し寄せる

発行/2022年3月改訂 農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課

■ナガエツルノゲイトウ **特** **緊**



開花中。(写真は6月)



越冬した茎からの芽生え。
(写真は3月)



水面を一面に覆っていた。(写真は7月)

茎:長さ1m以上、花:直径約1.5cm
水面にマット状に広がる。水中～陸上まで生育できる。
花期は5～10月。日本では種子はつけない。

このような被害が出ます!!



台風があった10月に、低地排水路等で繁茂したものが流下し、排水機場のスクリーン周辺に溜まって、目詰まりを起こした。



ナガエツルノゲイトウが侵入した循環かんがい施設の浄化池。水田内に侵入する恐れがあることから、送水が止められた。(写真は12月)

「ナガエツルノゲイトウの駆除対策について」 https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/nagae.html

特 (特定外来生物) は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。
緊 (緊急対策外来種) は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種です。
詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

● 生育環境： 池沼、湿地、河川、水路、畑地(陸上でも生育)



水面上でマット状に広がっていた。(写真は7月)
春から秋にかけて繁茂し続ける。

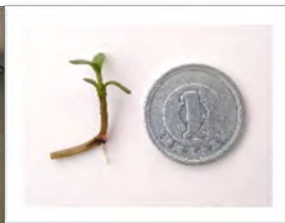


水田内で繁茂。(写真は8月)
稲刈りの際の障害になる。



陸揚げされても再生。
(写真は6月)

● 繁殖方法：茎断片により繁殖、根の断片からも再生する(※日本では種子をつけない)



2cm程度の切れ端
からも再生する。
(写真は7月)

茎がちぎれて水によって運ばれる。(写真は6月)



秋耕された乾燥土壌中でも
生存。(写真は10月)



茎の節から次々と根を出して
広がる。(写真は6月)

● 対策

- 生育量が少ない時期に除去する。
- 茎の破片からも再生するので、それらもできるだけ回収する。
- 乾いた陸上でも、根付いて再生するので、ブルーシートやアスファルトの上等に置く。
- 日本では種子をつけないので、種子から再生するおそれはない。



排水機場で実施された重機による除去作業。(写真は10月)



調整池でヨシの刈取りとともに実施された
人力による除去作業。(写真は5月)

本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768
東北農政局農村環境課 022-221-6256
関東農政局農村環境課 048-740-0515

北陸農政局農村環境課 076-232-4533
東海農政局農村環境課 052-223-4631
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417
九州農政局農村環境課 096-300-6436
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652